

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



4.5 特集 市町村合併の動向と公民館の対応

- 2 **トピックス** 第55回新潟県公民館大会
- 3 **視点** 「公民館の声」!!
- 3 **ひろば** にぎわいをみせる遊歩道
- 6 **実践記録シリーズ** ふるさと加治川再発見!
- 7 **サークル交流** Joy English (豊栄市) / 雪わり草 (高柳町)
- 7 **素顔拝見** 田村英明さん (十日町市) / 長谷川康之さん (上川村)



福島潟のゴイサギ (豊栄市)

第55回新潟県公民館大会

7・13中越地区水害で開催中止、紙上大会で



新潟県公民館連合会
会長 佐藤 信幸

7月13日、中越及び下越地方を中心に襲った想像を絶する集中豪雨は、多くの貴い命を奪い、貴重な家屋や田畑も濁流で押し流しました。

公民館をはじめとする多くの公共施設が避難場所に指定され被災された住民の方々が不安なお気持ちで過ごされました。

被害にあわれた皆様に対しては、して謹んでお見舞いを申し上げますとともに、くれぐれもご健康に留意され、一日も早く復旧がなされますことを、心からお祈り申し上げます。

この度の公民館大会は、被災地の長岡市で開催の予定でしたが、このような事情から中止を余儀なくされましたが、紙上大会という形でまとめていきたいと思っております。

なお、基調講演の概要は、月

報9月号の第4・5面特集欄で、実践事例発表は9・10・11月号の第6面で紹介していく予定です。是非ご覧ください。

また、当日予定してありました「大会決議」は、我々公民館関係者の足元をもう一度見つめなおして、さらなる発展に結び付けていこうという思いが込められております。9月8日に、新潟市中央公民館で開催予定の臨時評議員会で提案し、委員の皆様から承認していただくことを考えております。

さて、現在の日本社会を動かす時代の潮流として、少子化や

超高齢化社会を原因とする「人口構造の変化」、長引く不況による税収不足から見て取れる「低成長の時代」、国境のない大競争時代に代表される「国際化の時代」、コンピュータ技術の進歩による「情報化の進展」や「目覚ましい技術革新」、廃棄物処理など深刻な「環境問題」等々が上げられております。

一方、そうした中において、家庭や地域の教育力の低下、グローバル化による産業の空洞化や少子高齢化の進展などによる地域社会の活力の低下、さらには、まもなく到来が予想されるいわ

ゆる「アクティブシニア」の方々への対応等、私たちの周りには、数々の重要な課題が山積しております。

公民館関係者は、それらの課題を研究し、施策化し、住民の皆様さんとの協働で対応していく必要があると考えます。それが出来るのが、長年に渡ってノウハウを蓄積してきた公民館関係者であると思えます。

私たちは、諸々の課題解決のために更なる資質向上を図るとともに現状を革新する意欲をもつて取り組んでまいります。

最後になりますが、大会開催準備や中止後の事後処理にあたり、中越教育事務所、中越地区公民館連絡協議会、長岡市教育委員会の皆様にも全面的なご支援をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

平成16年度新潟県公民館振興市町村長連盟総会開催

平成16年7月2日(金)
於 新潟会館
出席42名 委任(欠席)55名



- 1 会長挨拶 (小千谷市長) 関 広一
- 2 来賓祝辞 新潟県教育長 板屋越麟一様
教育次長 内山 克彦様
- 3 来賓祝辞 新潟県公民館連合会長 佐藤 信幸様
来賓 新潟県市長会事務局長 石田 英紀様
- 4 議長選出 関 広一 会長
- 5 協議
第1号議案 平成15年度会務報告決
第2号議案 平成15年度歳入歳出決
第3号議案 平成16年度の重点目標並びに事業計画について
第4号議案 平成16年度歳入歳出予算について
第5号議案 第55回新潟県公民館大会の開催について
- 6 公民館活動の紹介
事例発表 「市町村合併と公民館」
新潟市関屋地区公民館長 佐野 憲昭様

謹んで豪雨災害のお見舞いを申し上げます。
新潟県公民館振興市町村長連盟
会長 関 広一

謹んで水害のお見舞いを申し上げます。

くれぐれもご健康に留意され、
一日も早く復旧されますことを心からお祈り申し上げます。

(社) 全国公民館連合会 会長 松下 誠

視点



「公民館の声」!!

十日町市立吉田中学校長 中曽根 勝彦

「ピー、プー、ホー」
 として、聞き覚えのあるメロデーも流れています。いろいろな音階の音が交じり合い響き渡っています。これは、地区公民館に行った時、私の耳に届いた「公民館の声」のひとつです。夜の七時半を回っていました。私は、会議の間には間があるので、音色のする研修室を覗きに行きました。そこには、講師の先生と数名の女性が譜面を見ながら熱心にオカリナの演奏練習をしている姿がありました。受講生のお一人が私を見つけ

「良かったらどうぞ」と、笑顔で声を掛けてくださいました。地域にしっかりと根を下ろし、学習拠点としての目的を果たしている公民館を、私は強く実感しました。

市町村合併が進む中、公民館は、地域住民の教養、情操、文化の振興、健康福祉等公民館の果たす役割は変わることなく、益々その活躍が目ざれるところです。そのため市町村合併に併せ、公的教育機関として広く地域に浸透する教育環境整備の見直しが必要であるように思います。

H O T N E W S 掲 示 板

新潟県公民館連合会の永年勤続表彰受賞者

No.	氏 名	所属公民館並びに役職
1	登坂 啓助	燕市東公民館 館長
2	柳原 興子	燕市南公民館 運営委員
3	阿部 秀一	白根市庄瀬地区公民館 館長
4	本間 正美	佐渡市新穂地区公民館 公民館部員
5	本間 稔彰	佐渡市畑野地区公民館 部長
6	安藤 明生	佐渡市赤泊地区公民館 公民館役員
7	栄森 靖生	小須戸町小須戸分館 分館長
8	野崎 勉夫	小須戸町横水分館 分館長
9	太田 純子	前笹神村公民館 運営審議会委員
10	竹内 隆	名立町公民館 副館長
11	笠原 俊英	名立町公民館 部長

ひろば

にぎわいをみせる遊歩道

堀之内町 社会教育委員長 諸橋 孝

JR越後堀之内駅の南西約二kmにある月岡公園を起点に、全長四kmほどの御嶽山遊歩道があります。標高三〇〇m前後の山の尾根のアップダウンを歩くものです。林間もありますが眺望がすばらしい所がたくさんあり、特に、越後三山の眺めはここならではの絶品です。案内標識や植物の名札等も整つてきました。香から夏にかけては新緑と野鳥の声を、秋は紅葉を、冬はまぶしいばかりの新雪と動物の足跡を楽しむことができます。カモシカに出会うこともあります。

町民に憩いの場を提供することで始まった遊歩道ですが、最近では近隣の町村の方だけでなく、長岡方面からもたくさんの方が訪れるようになりました。さらに、「JR駅からのハイキング」のコースに指定され、関東方面からの参加者でにぎわっています。

三十年程前から堀之内山の会が年一回、整備作業を継続し、道幅も広くなり大変立派な遊歩道になりました。数年前からは、御嶽山遊会の皆さんが御嶽山までのコースを中心に整備を進めています。



発表予定原稿より

動向と公民館の対応

措置を講ずる。』

委員15人(内豊浦地区から2人)

- ④ 成人式 「平成16年3月の成人式から市の制度を適用する。

平成15年の町の成人式は、8月14日に豊浦地区成人式として実施する。』

- ⑤ 文芸とようら 「合併時に廃止する。』

(2) 第1次の合併に向けた取り組み

- ① 市民教養講座で新発田市及び豊浦町の歴史、文化、まちづくり等の講座を実施

H14年度 「豊浦町を知ろう」「豊浦町を知ろうパートⅡ」

H15年度 「新発田のまちのうつりかわり～藩政時代から近代まで～」

- ② 高齢者対象事業「菖城大学」で、市長による“合併後の新発田市”の講話を実施

- ◎合併で市町の住民の交流や相互の施設利用により、住民の視野が広がり、活動が活発となった。

4 第2次の合併(紫雲寺町と加治川村との合併)に向けて

- (1) 「市町村の個性を結びつけ、魅力あるまちを創造し、市民福祉の充実とより良い行政サービスを提供できる県北地方の中核都市としてのまちづくり」を合併に対する基本方針とし、第2次の合併として紫雲寺町(人口8,112人)・加治川村(人口7,374人)と編入合併し、人口106,000人・面積533km²の県北地方の中核都市を目指して、平成17年5月1日合併を決定している。

- (2) 公民館関係の行財政調整は、第1次の合併と

同様の内容で調整。

人口10万人以上の都市としての、組織、人員体制について教育委員会、市で検討中。

5 これからの課題、めざすべき方向

- (1) 合併に対する住民の気持への対応……不安を解消し、夢と希望を持ってもらう

- ① 地域の特性、個性がどうなるのか……

- ② 市と町村の格差が拡大しないのか……

↓

「夢が持て、地域の特性を生かした個性あるまちづくり」

- ③ 自分たちの意見をきいてくれるのか……

↓

住民と行政との「共創のまちづくり」

- ④ 公民館はどうなるのか、どう変わるのか……

↓

「職員を配置した地区公民館」「地域に密着し、住民と共に歩む公民館」

- (2) 今後に向けて

合併後の新しいまちづくりに向けて、公民館はこれまで培ってきたもの(①人が集い、仲間づくりの場 ②学び、創造する場 ③地域住民の暮らしや生活に関する地域課題を発見し、問題を皆で解決する力をつける場として地域づくり、人づくりに貢献)を大切に、住民とともにまちづくりを模索する「地域学」をはじめとする社会教育的視点に立った事業の充実、強化を図ることや、公民館職員として資質の向上に努め、公民館の情報を広く発信していくべきである。

特集

第45回関東甲信越静公民館研究大会 第4分科会

市町村合併の

新発田市中央公民館

館長

渡邊 徳廣



研究テーマ

個人的立場、組織的立場からの諸事情を紹介し、公民館の存続・充実について考えを深め、実践的な行動につなげていく。

1 概要

新発田市は新潟県の北部に位置し、県都新潟市から27km、車で30分程度の距離にある。面積の約7割が山林で、山麓から平野部にかけて豊かな水田が開けた県内有数の穀倉地帯で、良質米の産地である。市街地は、江戸時代に城下町と栄えた歴史を持ち、本丸表門・旧二の丸隅櫓とお堀を今に伝える新発田城は国の重要文化財に指定されている。

2 新発田市の市町村合併の経緯

(1) 新発田市は昭和22年に市制を施行し、昭和30年に6村と、昭和31年に1村の一部と、昭和34年に1村と合併し、新潟縣市町村合併促進要綱が発表（平成13年2月）された後では県内初めての合併を、平成15年7月に豊浦町と行った。

(2) 新発田市と豊浦町との合併（第1次の合併）

新発田市と豊浦町は、地理的、歴史的にも経済、文化、生活面において深い結びつきがあり、高齢者福祉事業やごみ焼却、公共下水道計画事業を共同して実施し、同じ生活圏域

として共に栄えてきた。

- ① 新発田市・豊浦町議員協議会 H13・6
両議会で任意合併協議会設立を決議
- ② 合併協議会の設立 任意…H14・1/25
法定…H14・9/30
- ③ 合併の方式・期日 編入合併 H15・
7/7（人口約92,000人 面積約470km²）
- ④ 合併による効果 「県北地方の中核都市
の形成」「広域的なまちづくり」
「市としてのイメージアップ」「行政サー
ビスの充実」

3 第1次の合併と公民館の状況

豊浦町の公民館は、地域住民の生涯学習やふれあいの場として、様々な幅広い事業を展開しており、事業内容が新発田市の組織で6課に関係していた。

(1) 行財政の調整

- ① 公民館の取り扱い
市…公民館→中央公民館
(職員8人→8人)
地区公民館(旧農村部8ヶ所)
→中央公民館の分館
町…「職員を配置した地区公民館とする。」
豊浦町公民館(職員7人)
→豊浦地区公民館(5人)
- ② 公民館使用料 「両市町の制度は、当分の間現行どおりとし、内容については、合併後新市で調整する。」
条例改正 H15・6
- ③ 公民館運営審議会 「市の同種の付属機関に統合する。但し、委員構成は適切な

実践記録

77

シリーズ

ふるさと加治川再発見！

～まちづくりワークショップを開催して～

加治川村教育委員会生涯学習課 主任 吉田 雅則

1 はじめに

加治川村では、生涯学習課で把握している人材やソフト的なノウハウと建設課のもつ事業や予算を組み合せ、合併前に地域を見つめなおし、合併した後もこの地域の個性を活かしたまちづくり、地域づくりにつなげられるように、行政と住民が協力して地域の未来像を描くまちづくり講座を、県内外で活躍している清水義晴さん・堀昌子さんにコーディネーターをお願いし、開催しました。

2 まちづくり講演会

平成15年3月に、清水義晴さんが全国で関わってきた事例を通して、まちづくりの手法、楽しさ、大切さについて講演をいただき、その後参加者から、村の宝ものと思う意見を村の地図にプロットしていくという講演会を開催しました。用意した地図にいっぱい宝ものがプロットされ、何もないと言っていたのが嘘のようにたくさんの宝物があり、自分たちの村の豊かさを実感しました。



グループワークの様子

3 私たちの宝ものワークショップ

平成15年6月から、講演会でプロットした宝ものほかに、見つけ出していない宝ものを発見し、それを活かして村の未来像をデザインすることを目的に3回のワークショップを開催しました。

第1回目は、村内めぐりを行い参加者自らの目で宝ものを探しました。そして「村の人を知る」ということで、その後、村内で活躍の様々な分野の人を呼んで、そのこだわりを発表してもらいました。そして、その目見たり聞いたりしたものをもとに、グループごとに「宝ものマップ（現状図）」を作成しました。

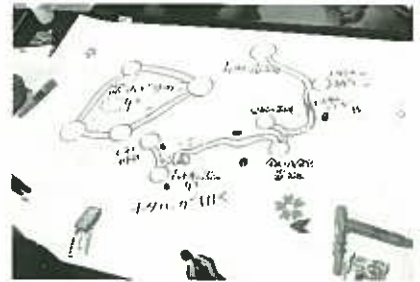
第2回目は、前回作成した「宝ものマップ」をもとに、「加治川村の未来図」を作成しました。

第3回目は、前の2回を振り返り、実現可能な将来像をみんなで描きました。

- ・村全体が総合学習の場
- ・桜とホテルとコシヒカリによる村づくり
- ・加治川村の宝「大峰山」

という、三つのテーマの将来図が出来上がりました。

加治川村のよさである自然、人、文化等、たくさんの宝ものがあることを認識しました。そして、これらを結びつけることによって、いろいろな未来像を描くことができました。回を追うごとに、参加者の目がキラキラしていく姿が印象的でした。また、自分自身がこの地域、そしてここに住む人たちのすばらしさを知ることができました。



作成中の未来図

【参加者の感想】

- ・ 蛍の里づくりや桜並木復元、大峰山のボランティアガイドなど先駆的に取り組んでいる人が多く、頼もしさを感じた。
- ・ いろいろな発見がたくさんあった。村民の暖かさも知りました。
- ・ 加治川村がピカピカに光って見えた。

4 農村振興整備事業ワークショップ

平成15年12月からは、私たちの宝ものワークショップで作成した未来図を、建設課の行う農村振興整備事業で実現するため、引き続き、行政、小学校の先生、地域の住民、設計コンサルタント等の多種多様な人たちが集まり、引き続きワークショップを開催しました。ここでは、事業予定地を実際に歩き現地を調査し、課題を明らかにして三つの構想図を描いて、3月に村へ提案書を提出しました。現在、この中から一つのプランが事業実現に向け、動き出しています。

5 おわりに

加治川の地域づくりは、今やっと「芽」が出そうなところにきました。合併した後もこの地域に住む住民が主体となって活気ある豊かな地域を築き、そして大きな「花」が咲くよう取り組んでいければと思います。

とよさか発異文化への旅



英語でのコミュニケーションの向上を目指し、週一回集まって英会話の勉強をしています。約10年前に初歩クラスから始まりましたが、途中から英語力のあるメンバーも加わり、学ぶ意欲も一層高まりました。ここで学んだものを形にしたいと、5年前に外国人によるスピーチイベント「とよさか発異文化への旅」を発足させ、毎回、市内外約50名ほどの参加を得て、これ

異文化へ視点を向けて
Joy English
(ジョイイングリッシュ)

までに22回を数えました。交渉からスピーチの翻訳、当日の通訳まで、すべて自分たちでやるので、私たちの英語力では時としてタフな反面、本当に良い勉強になります。今や第二の我が家と化した公民館。もう一歩上の英語力を目指して今日も集まっています。

豊栄市 Joy English
代表 田丸 信子 記



大正琴は私たちの
生きがいです！
雪わり草 (高柳町)

私たちの大正琴のグループは、鈴木琴城流を流派とし、村田先生を中心に、会員二十一名が月二回位、半日の日程で活動しています。高齢者が多いため、初めは

なかなか課題曲が演奏出来ませんでした。練習を重ねる度に徐々に上達し、次第に演奏の息も合ってきました。練習が終わるとちよつぱり肩がこりますが、この適度な緊張感が老化の防止になるのではないかと思っています。

現在は、十月に行なわれる第六回ほくほく線大正琴演奏会に向けて練習を行なっていますが、まだまだ未熟な点が多いので、今後練習を重ねて本番には良い音色が出るようにして行きたいと思っています。
高柳町公民館
今井 尚美 記



彼は教育委員会に配属され、公民館事業を担当して3年目を迎える。小中学生から高齢者まで、あらゆる事業・教室を一手に引き受け、椅子に座るヒマもない、多忙な毎日である。

観光・福祉と、人と接する仕事を多く経験したせいかもしれないが、常に相手の気持ちを考えようとする態度、その堅実な仕事ぶりには彼のやさしさがあふれている。

上川村公民館
長谷川康之さん



それとは裏腹に、思わずツッコミを入れたくなるそのボケぶりは兎事と云うほかはない。笑わせようと意識しているのかそれとも天然なのか、彼の周囲には常に笑いがあふれている。

「次はどうツッコモウか」と人に考えさせてしまおう、彼は実に他に得がたいキャラクターの持主である。

(社会教育係長 遠藤 佐 記)

当施設は、地区公民館と戸籍等を発行する出張所の併設館。そして4つの分館をもっています。

農林課から来て2年目、全くの未経験部署で、しかも用務員を含めた3名体制の職場とあって、当初は戸惑いもあったようです。

しかし、小学生の頃から公民館事業に積極的に参加していたという経験を持つ彼は、すぐにとけ込み、地域子ども

十日町市公民館下条地区公民館
(下条出張所)

主任 田村英明さん



も会をはじめ公民館事業の企画運営、戸籍等の発行や図書業務と仕事は多岐に渡っていますが、持ち前の明るさとパワーで確実に、そしてスピーディにこなす実力派。今では公民館の顔となっています。

家では大変若〜い奥さんと毎日があつあつとか。仕事は夜、土日勤務もあり大変ですが、二世誕生にもスピーディさを期待します。

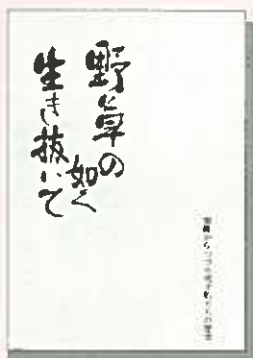
(十日町市公民館下条地区公民館 (下条出張所) 角山誠一 記)

素顔
拝見

事務局の書棚を整理中、標題に釣られ、立ち読みしている内にすっかり惚ってしまった。苛酷な今次大戦を生き抜き、戦後の混乱期をも逞しく生き続けられた方々の迫力ある血の滲むような手記・体験集で、思わず息を呑む思いで読み通してしまつた。

軍隊は運隊だ、隣り合せにい

て、一人はカスリ傷ひとつ負わず、一人は弾に当たって死んでいく(Mさんの臨場感溢れる手記)。聖籠町でも大勢の仲間や知人が戦死していた。歓呼の聲に送られて出征した元気な若壮



年が戦野に屍を曝し、あるいは艦船ぐるみ海底に沈んだまま帰って来ない(復員時の感想を記したTさん)。新発田駅を下車して加治川鉄橋に掛ると、折から長堤十里の桜花が満開だった。右手には残雪が真白に輝く

二王子岳が遠望され、思わず窓を開けると飯豊山の川風が冷たく吹き込んで来る。いつの日か又この桜を見る事ができるだろうか(舞鶴海兵団から室蘭港乗艦までの移動車中での印象を昨今のように再現されたHさん)。シベリヤでの抑留生活四年間は四十分分程の圧縮された年月(感想をまとめられたMNさん)。女性の方々も銃後の苦ししい体験をそれぞれの立場で寄せられている。

しっかりと文章の数々で、編集スタッフの力量の確かさも伝わって来る冊子である。

恵贈資料紹介
野草の如く生き抜いて
聖籠町 同編集委員会

Network ネットワーク

第44回社会教育研究全国集会(40周年記念集会)のご案内 ～平和・くらし・地域をきざぐ社会教育の自由と自治を～

- 主催 社会教育推進全国協議会
- 後援 福島県 福島県教育委員会 猪苗代町 猪苗代町教育委員会 福島民放社 福島民友新聞社
- と き 2004年8月28日(土)・29日(日)・30日(月)
- と ころ 福島県猪苗代町/リゾート旅館 ヴィラ イナワシロ(特等猪苗代はやま温泉)
※猪苗代駅からホテルまで送迎バスを随時運行します。

■日程

日時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
28日				受付		第一全体会		課題別学習会		移動		全体交流会	
29日		分科会		昼食		分科会				休憩・夕食		この席と3日ラウンドテーブル	
30日						第二全体会							

- 費用等 ①集会参加費 5,000円/学生及び1日参加3,500円(集会資料集及び冊子集を含む)
- ②全体交流会費 1,500円(ただし、ヴィラ イナワシロ以外に宿泊する方は4,000円)
- ③29日昼食代 1,000円

■参加申込 所定の郵便払込用紙に、必要事項(名前・住所・電話・所属・課題別学習会番号・分科会番号・全体交流会の参加・宿泊を申し込まない方のみ29日昼食の注文)を記入の上、合計金額を払い込みください。

口座番号 00140-5-148793 社会教育研究全国集会実行委員会
締切り 2004年8月5日

■宿泊申込(ヴィラ イナワシロ) ※締切り 2004年8月5日

◆宿泊費(1泊2食付)8,000円(和室4人部屋基準)
所定の郵便払込用紙に、必要事項(名前・住所・電話・所属・宿泊日・同室希望者の有無・29日昼食の注文)を記入の上、合計金額を払い込みください。

◆学生用として、特等青年の家を宿泊費(1泊2食付)3,000円で利用できます。青年の家に宿泊希望の方も、ヴィラ イナワシロの郵便払込用紙に必要事項を記入の上、申込みください。

■派遣申請 必要な方は、はがき、ファックス、メールのいずれかで社会協事務局へ申込みください。

(問い合わせ先)

全国/社会教育推進全国協議会事務局 毎週水曜日午前10時～午後9時
〒162-0818 東京都新宿区築地町19番地 小野ビル2階
TEL&FAX:03-3235-1143 E-mail:japsc@nifty.com
ホームページhttp://homepage3.nifty.com/japsc/
宿泊/リゾート旅館 ヴィラ イナワシロ
〒969-3102 福島県耶麻郡猪苗代町字葉山7105
TEL:0242-62-1111 FAX:0242-62-1124 ホームページhttp://www.villa.co.jp/

event information

集中豪雨による災害お見舞い

この度の豪雨により被害を受けられました公民館関係の皆様、心からお見舞い申し上げます。
一日も早く復旧されますよう、お祈り申し上げます。

社団法人 全国公民館連合会提供
(公民館総合補償制度)

取扱センター **エコー保険サービス株式会社**

〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-18

TEL ☎0120-636-717 (または、03-5562-0730)

FAX ☎0120-226-916 (または、03-5562-0732)

あ と が き
第55回県公民館大会は、7・13中越地区大水害のため中止せざるを得ませんでした。中止決定後の吉岡実行委員長さんはじめスタッフの

方々のすばらしい事後処理対応により、参加者に周知できましたこと、心から感謝いたします。
第45回関プロ大会へは、当県から五十名もの多くの方が参加されます。(鈴木 記)

表紙解説 写真の鳥は「ゴイスギ」といいます。福島県では、夕方に「アーアー」とないて飛んでいる姿をよく見かけます。地元では「ヨガラス」と呼ばれています。

発行所 新潟県公民館連合会 発行人/会長 佐藤信幸 編集人/事務局長 鈴木友夫 Eメール/ni-koren@juno.ocn.ne.jp
〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 TEL・FAX(025)224-6073

印刷 第一印刷所 〒950-8724 新潟市和合町2-4-18 TEL(025)285-7161 FAX(025)282-1776 【定価1部150円 千共・年極1,800円】